

第4期全学共通教育新カリキュラムの検証の目的

寺尾 徹 (大学教育基盤センター共通教育部長)

2019年8月より開始された第4期中期目標期間に向けた全学共通教育改革に向けた検討は、「全学共通教育スタンダード」の実質化を目的とし、2018年の中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に代表される現在大学に求められる改革課題を背景として、教育戦略室への2次にわたる答申として2020年度中に結実した。この改革理念と内容については、本誌「香川大学教育研究」の第18号・第19号の特集において取りまとめられている(高橋2021、第4期中期目標期間に向けた全学共通教育改革理念検討ワーキンググループ2021、寺尾2022、寺尾ら2022)。2021年度にはこれらの答申に基づき新カリキュラムの具体化がすすめられ、2022年度より新カリキュラムがスタートした。具体化された新カリキュラムの全容や開講状況に関しては、2022年度本誌特集を参照されたい(寺尾2023、蝶ら2023、佐藤ら2023)。

新カリキュラム2年目に入り、1年間を通じた運用を経過した時点における本特集における検証の目的は主に以下の3つである。第1に、再編された科目区分が順調に準備され、スムーズに受講が進んでいるかどうかの確認である。ここには、同時的に進行した新型コロナウイルス禍の「知プラe科目」(「四国におけるe-knowledgeを基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施(知プラe)事業」に基づき提供されるe-Learning科目を「知プラe科目」と称する)などe-Learning型科目の受講動向に関する検討も含めている。第2に、新科目区分に対する学生の受け止めの質に踏み込んだ検証である。この点では、科目を提供する教員が所属する各科目領域をグルーピングした「科目領域グループ」という新機構への検証も含んでいる。第3に、本学独自の副専攻プログラムである「ネクストプログラム」の現時点における検証を行った。これは、より大きな視点から新カリキュラムに現段階を概観することを意図したものである。

本特集は、以下、5つの論考から構成される。

- 1) 全学共通教育新カリキュラムの受講動向
- 2) 学生は「学問への扉」をどう受け止めているかー学生アンケート結果の結果についてー
- 3) 全学共通教育の新しい試みー科目領域の助け合いの仕組みー
- 4) 知プラe科目の検証ー履修状況から見える問題点と今後への展望ー
- 5) ネクストプログラムの検証ー「大学教育の改善に関する調査」の分析からー

これらの論考は全体として、衆知を集めて具体化を図ってきた第4期中期目標期間の全学共通教育改革が「全学共通教育スタンダード」の実質化に寄与しており、歴史的なしくみを十分に活かしながら新しい要素を加えることに成功していることを示している。同

時に、実際に科目を準備し、運用をしてみて初めてわかる教訓や課題、さらには新たに浮上した問題点や積み残した課題について検討を深めるとともに、いくつかの具体的な対応策の提言がなされている。また、新型コロナウイルス禍のインパクトをうけて知プラ e 科目の受講動向において大きな変化が進行し、新たな課題が急浮上していることも明らかとなった。

なお、新カリキュラムは入門科目の充実を通じて学生の自己選択力を育て、より広い学びに向けた学生の受講動向の変容を意図したところの一つの特徴がある。その効果の全面的な検証のためには、少なくとも多くの学生が全学共通教育科目を履修する 2 年間の受講動向の詳細な検討が必要である。したがって、この課題については次年度までの連続した検証を必要としており、次年度にゆだねられていることを付記しておきたい。今後、検証結果から顕出するいくつかの課題を背景に、2026 年度までの実施を目指した改善策の検討が必要となるだろう。

参考文献

- 蝶慎一・佐藤慶太・三好秀和・原瑞穂・岡田徹太郎・西本佳代・西成典久（2023）「「ライフデザイン」の新規開講を迎えて」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 20 号、13-31 頁。
- 第 4 期中期目標期間に向けた全学共通教育改革理念検討ワーキンググループ（2021）「第 4 期香川大学全学共通教育改革プランー令和 4 年度香川大学全学共通教育改革に関する教育戦略室からの諮問への第 1 次答申の検討ー」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 18 号、5-23 頁。
- 佐藤慶太・小坂有資・蝶慎一・寺尾徹・岡田涼・井藤隆志・田中直孝・守田逸人（2023）「「学問への扉」の新規開講を迎えて」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 20 号、33-49 頁。
- 高橋尚志（2021）「第 4 期香川大学新全学共通教育プランー改革の全体像ー」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 18 号、1-4 頁。
- 寺尾徹（2022）「新全学共通教育の経緯と構想理念」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 19 号、5-11 頁。
- 寺尾徹・葛城浩一・佐藤慶太・西本佳代・岡田徹太郎・三宅岳史・徳田雅明・高水徹・高橋明郎・宮崎英一・野村美加（2022）「新カリキュラムの始動へ向けた取り組み」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 19 号、13-31 頁。
- 寺尾徹（2023）「「学び心を起動する」入門科目」香川大学大学教育基盤センター編『香川大学教育研究』第 20 号、3-11 頁。